

地域おこし協力隊卒業生の活動紹介

図 SDGs移住定住推進課
(内線4224)



地域おこし協力隊とは三大都市圏などに住む人材を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、将来的には石巻への定住・定着を図る国の事業です。市では既に29人を委嘱し、退任した17人のうち、14人が市内での就労または定住に繋がっています。各隊員の活動内容などを紹介します。

令和5年8月に着任してから3年、はじめは移住体験施設の管理、令和7年度からは休憩所の運営と、非常に忙しい日々を過ごしてきました。休憩所では、旅行者の仮眠利用の開始、島民向け落語独演会の開催、さらには網地島をいかに盛り上げるかという振興策にも参加し、内容的には充実していたと感じています。

ありがたいことに島民の皆さんとの関係性も良好で、できれば定住したいと思っていますが、しばらくの間は東京と網地島を行き来する「二地域居住」になる予定です。

地域おこし協力隊の任期3年と限られた期間はあまりにも短く、やりきれなかった感が少し悔しいですが、充実した毎日でした。



- 隊員プロフィール 氏名 鈴木 康文 任期 令和5年8月1日～令和8年7月31日(3年間の任期を満了し卒業)
- 出身 東京都文京区(転出元 東京都文京区) 前職 フリーライター
- 主な活動内容 網地島の離島振興
- 市担当職員からのメッセージ いつも前向きでエネルギッシュな鈴木さんは、若手隊員にも引けを取らず、常に大きな存在感を放っていました!島民の皆さんから頼りにされ、来島者にとっても安心感を与える存在でした。3年間、本当にお疲れ様でした!

～包括連携協定の取組を紹介します～

市では、地域が抱える課題解決や、市民サービスの向上などを目的に、民間企業や大学、団体など32者(令和8年6月末時点)と包括連携協定を締結しております。ここでは、協定に基づき市と連携した取り組みの一部を紹介します。

石巻専修大学・ソフトバンク株式会社(3者協定)

締結日:平成31年1月25日

ICTを活用し、市が抱えるさまざまな課題の解決に取り組み、市民サービスの向上や地域の教育・社会経済・福祉の向上を目指して、さまざまな取り組みを連携して行っています。

<主な取り組み>

専修大学神田キャンパス(東京都)でいしのまき祭りを実施

石巻専修大学・ソフトバンク株式会社 × SDGs移住定住推進課

【概要・効果】

首都圏在住の学生や近隣住民を対象に、市の魅力を広く発信し、石巻の認知度およびブランドイメージの向上を図るとともに、将来的な市への来訪や関係人口の創出・拡大につなげることを目的として、「いしのまき祭り」を開催しました。



スマホの基本とLINE講座、キャッシュレス講座、詐欺対策講座、確定申告(e-Tax)講座

ソフトバンク株式会社 × 中央公民館、渡波公民館、稲井公民館
蛇田公民館、北上公民館、市民税課

【概要・効果】

急速なDXの進展に伴い、高齢者などスマートフォンの操作に不安を感じる市民への支援を目的として、ソフトバンク(株)の協力のもと、スマホ講座を実施し、参加者のスマートフォンに関する基礎知識の向上を図りました。



各種データに基づいた体力・運動能力向上への取り組み

石巻専修大学・ソフトバンク株式会社 × 教育委員会学校教育課

【概要・効果】

石巻専修大学人間学部高橋功祐特任講師とともに、市内小学生を対象に、身体組成と運動機能の測定、生活習慣のデータ収集を実施しました。また、市内小・中学校でソフトバンク(株)が提供するAIによる運動解析アプリを活用した体育の授業を行いました。



現在の包括連携協定の締結状況は市ホームページを確認ください。

図 政策企画課(内線4213)



仁戸田貝塚から発見された
縄文時代中期の土器

石巻港より南東に約15kmの海上にある田代島。現在は「猫の島」として国内外から人気を集める田代島の歴史は今から数千年前の縄文時代にまで遡ります。

文時代の遺跡です。一九二七(昭和二年)と一九六四(昭和三九)年に発掘調査が実施された結果、遺跡としての保存状況が良好であるとして、一九七五(昭和五十一年)に県指定史跡に指定されました。

仁斗田貝塚からは、縄文時代前期(約六千年前)の土器が発見されていることから、この時期にはすでに田代島へ人が上陸していたことが窺えます。現在のように動力船はない時代のため、丸木舟やいかだなどで牡鹿半島から海へと漕ぎ出していったのかもしれません。

(文化財)
たんぽう

134

田代島にある縄文遺跡～仁斗田貝塚～
石巻市教育委員会生涯学習課

現在までの調査で、住居跡は確認されていませんが、動物を獲るための狩猟具である石鏃や石槍、魚を獲るための漁撈具である釣針や鉤、漁網錘などが多数発見されていることから、積極的な狩猟・漁撈活動が展開されていたと考えられます。また、マガキやアワビなどの岩礁に生息する貝類も多量に発見されているため、磯物採集活動を積極的行っていたこともうかがえます。

仁斗田貝塚は、島という特殊な環境下に立地しているため、今もなお縄文人の残した生活の跡が多く眠っていると考えられます。田代島の歴史を考える上では、欠かすことのできない重要な遺跡なのです。

参考文献 石巻市史編さん委員会一九九五年『石巻の歴史』第七巻